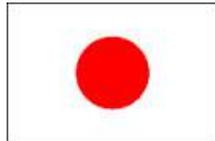


# 海外議員派遣報告書

(サンダーベイ市、トロント市、シンシナティ市、ニューヨーク市)



岐阜市議会議員 松原和生



(姉妹都市・サンダーベイ市役所玄関にて)

## ＜本会議の承認を受けた海外議員派遣の目的＞

6月27日、岐阜市議会本会議において、およそ以下の内容で海外議員派遣の承認を受けました。

「今後の都市間交流に関する協議及び友好の促進を図るため、姉妹都市提携10周年を迎えるカナダ・サンダーベイ市及び同じく姉妹都市のアメリカ・シンシナティ市を表敬訪問する。また、併せてカナダ・トロント市及びアメリカ・ニューヨーク市において、在トロント日本総領事館や国際連合日本政府代表部を訪問するなど、国際親善の更なる進展に寄与するとともに、本市のPRと情報収集を行い、今後の市政に活かす。」

現地での日程は、

- ・ 7月20、21日 サンダーベイ市（カナダ・オンタリオ州）
- ・ 7月22日 トロント市（カナダ・オンタリオ州）
- ・ 7月23、24日 シンシナティ市（アメリカ合衆国・オハイオ州）
- ・ 7月25日 ニューヨーク市（アメリカ合衆国・ニューヨーク州）

※最終日以外は、細江茂光岐阜市長他と同じ日程です。

※7月19、26、27日は、機内移動日です。



（6月定例会本会議、海外議員派遣を承認）

## サンダーベイ市（カナダ・オンタリオ州）の概要

- ◆ 人 口 11万人
  - ◆ 面 積 448km<sup>2</sup>
  - ◆ 時 差 マイナス14時間（夏時間マイナス13時間）
  - ◆ その他 岐阜（日本）、セイナヨキ（フィンランド）、ダルース（アメリカ）、リトルカナダ（アメリカ）、焦作（中国）と姉妹都市提携
- 五大湖の西岸に位置し、大西洋へと通じるカナダ中部からの水運の起点。穀物や製品を送り出す重要な中継基地である。
  - 自然が豊かで、森林資源、鉱物資源にも恵まれる。
  - 教育分野の雇用が11%を占める学園都市である。
  - 夏の平均気温は16度、冬の平均気温はマイナス13度と低い。
  - 2017年9月、U-18ワールドカップ野球大会の開催地である。
- ※アジア選手権の上位3ヶ国が出場となり、日本は同大会に優勝して出場権獲得（9月4日）。

### <サンダーベイ市役所で懇談>

サンダーベイ市は、旧柳津町との間で姉妹都市交流（平成9年～）を進めていましたが、岐阜市と旧柳津町との合併を契機に、改めて岐阜市と姉妹都市提携（平成19年～）を締結しました。

元々は、旧柳津町の岐阜教育大学（現：岐阜聖徳学園大学教育学部）とサンダーベイ市のレイクヘッド大学が、大学間交流（平成2年～）を進めていたことが発端です。合併協議での議論の際、サンダーベイ市側から強い継続の意思が示されたこともあり、特に教育・観光・多

文化共生の分野での成果を期待して、平成18年9月の岐阜市議会で姉妹都市提携を確認しています。今回は10周年を記念した相互訪問の一環です。

そうした経緯もあってか、トロント・ピアソン国際空港から74人乗りのプロペラ機に乗り継ぎ約2時間のサンダーベイ国際空港の到着ロビーでは、キース・ホブズ市長、ブライアン・マキノン姉妹都市委員長（市議会議員）他が、歓迎の横断幕を広げて出迎えてくれました。

早速、サンダーベイ市役所を訪問。キース・ホブズ市長、ノーム・ゲイルシティマネージャー他と懇談、記念品の交換などを行ない、今後の交流促進について前向きな議論を行ないました。

秋にキース・ホブズ市長が岐阜市を訪れる方向で調整中とのことで、ぜひとも「ぎふ信長まつり」に合わせた来岐をリクエストしました。



（キース・ホブズ市長と記念品を交換し握手）



(市長応接室でホブス市長、シティマネージャーと懇談)

### <レイクヘッド大学を訪問>

前述の様に姉妹都市提携のきっかけとなった、オンタリオ州立レイクヘッド大学を訪問しました。モイラ・マクファーソン副学長、キム・フェダーソン校長、ロバート・ペリア国際学生課長と面談し、レクチャーの後、キャンパス内を案内され、学長応接室で歓待を受けました。

約9000人の学生の内、1000人以上が留学生。57ヶ国から来ているそうです。

平成元年から平成13年まで、岐阜教育大学（現：岐阜聖徳学園大学教育学部）との間で大学間交流の実績があり、当時は交換留学生制度もあったとのこと（現在は休止状態）。かつて岐阜教育大学に派遣され、英語の教鞭をとったという先生も同席されました。

学内では、日本からの留学生が2人、通訳を務めてくれました。1人は北海道大学農学部を卒業後、森林関係の研究を深めるため、この大学を選んで留学したのだそうです。

レイクヘッド大学は現在、国立大学法人岐阜大学と学術交流協定締結に向けて協議中とのことで、秋頃に副学長が来岐予定。その進展に期待したいと思います。



(副学長の挨拶・岐阜市長の答礼)



(豊かな自然の中に近代的な校舎)



(岐阜教育大学に派遣された先生)



(日本からの留学生が通訳を)

## < 歓迎レセプション >

歓迎レセプションは、中心部のレストランで開催。キース・ホブズ市長とマリサ夫人、ブライアン・マキノン姉妹都市委員長（市議会議

員) 他市議会議員6人、カレン・ルイス経営戦略イニシアティブ兼広報課長他市関係者、姉妹都市委員会民間人らが参加。民間人のヒロコ・ベッキモラー氏は、愛知県から留学中に、当地の青年と知り合い結婚して、サンダーベイ市で暮らしているのだそうです。両方の国を知る立場から見て、住みやすい街だと感じているそうです。

33歳の新人市議会議員とは、若者が立候補するに至った決意と苦労話などで盛り上がりました。世代の壁を打ち破る挑戦に、国境を超えてシンパシーを感じます。6人が出席の市議会議員は定数12人。7つの地区代表7人と、市全域からが5人。看守、教員、カイロプラクター、国会議員OB、ビジネスマン、労働組合、商店主(引出物屋)など、出身の職業は多彩です。電話が携帯を含めて市の経営で、その利益で市営バスの赤字を埋めているとのこと。市が電話事業を手放したら、市税が10%上がる?と笑いました。

驚いたのは、終了後、社会的立場のある出席者の多くが、レストラ



ン駐車場から飲酒運転で帰ろうとしたことです。通訳によると、自動車以外の移動手段が少ないため、酒気帯び運転程度はOKとされているのだそうです(酒酔い運転はダメ)。ちなみに多くが日本車でした。

(鵜飼のハッピーで乾杯の音頭を取るホブズ市長)



(市議会議員の皆さん他と交流)



(ボランティア通訳は現地に嫁ぐ愛知出身者)

### <平和の鐘式典>

サンダーベイ市の2日目は、市役所会議室での歓迎朝食会（9時～）からスタート。歓談の後は、市議会の議場なども案内して貰いました。

玄関に掲げられた旗は、右から、日本・サンダーベイ市・カナダ・イギリス連邦・先住民族だそうです。



(サンダーベイ市庁舎に掲げられた旗)



(市役所会議室で朝食懇談会)



(サンダーベイ市議会の議場)

11時から市庁舎前広場にて「平和の鐘」式典。毎年、各姉妹都市で、岐阜空襲のあった7月9日に「平和の鐘」を鳴らして貰っていますが、今年は代表団の訪問に合わせて7月21日に開催です。

地元のサーウインストン・チャーチル公立高校生徒の合唱が花を添えます。Let It Be (The Beatles) は、日本人でも歌詞無しで歌えます。退役軍人の皆さんが、制服を着て参加するのは、戦勝国ならではないでしょうか。

サンダーベイ市からキース・ホブズ市長とピーター・コリンズ先住



民族議会議長、岐阜市からは細江茂光市長と杉山利夫市議会議長が代表して、平和の鐘を打ち鳴らします。私たちも一緒に、世界の平和を祈りました。

(平和の鐘式典)

# 岐阜市代表団、カナダ・サンダーベイ市訪問

# 姉妹都市の絆さらに



北米を訪問中の岐阜市代表団（団長・細江茂光市長）は21日（現地時間）、姉妹都市のカナダ・サンダーベイ市を訪れ、市庁舎内の広場でキース・ホプズ市長らとともに「平和の鐘」式典を行った。

（古家政徳）

## 「平和の鐘」式典で友好深める

「平和の鐘」式典を行った細江茂光市長やキース・ホプズ市長（右から3人目）ら「カナダ・サンダーベイ市（岐阜市提供）」

岐阜市側から参加したのは細江市長や杉山利夫市議会議長ら代表団6人と市議団3人ら総勢22人。細江市長は「姉妹都市の絆をより深め、国境を越え世界平和の実現を誓つ」と英語でスピーチ。ホプズ市長は「平和への第一歩は絆を築くこと。岐阜市との関係をたたえるとともに、世界平和を祈る」とあいさつし鐘の音を響かせた。

その後、サンダーベイ市主催の文化交流会があり、NPO法人「和の未来」が「ぎものショー」を披露。細江市長はホプズ市長に今秋の来岐を打診した。市代表団はトロント市を経由して友好都市のアメリカ・シンシナティ市に入る予定。

（岐阜新聞7月23日朝刊の記事より）

## <ランチレセプション・港湾開発地区視察>

その後、ウォーターフロント（港湾開発地区）のマリーナパークに移動してランチレセプション。

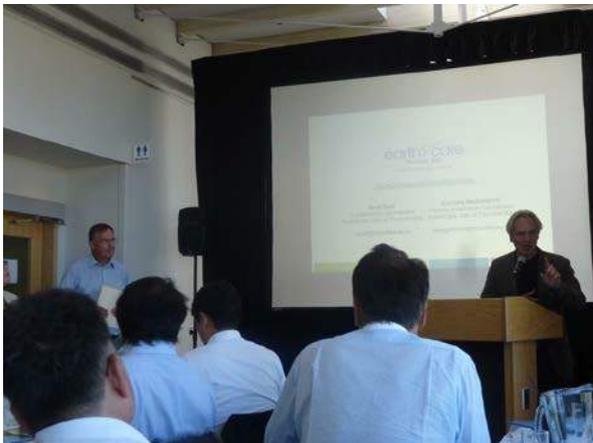
ランチの後、①鉾山・資源、②ワールドカップ野球U-18、③ゴ

ルフ場、④健康科学、⑤医療機器、⑥環境エコ、⑦大学留学の順にプレゼンテーションを受けました。パワーポイントの画像を駆使した、各5～10分ほどの発表は、日本とのビジネス展開・誘客等を期待して、大変熱がこもっていました。

終了後は、会場周辺のウォーターフロント（港湾開発地区）を、キャシー・ボール マネージャーに案内され、エリアの説明を聞きました。

第1期として、広場、ステージ、ホテル、展示場、マンション、道路が完成しており、第2期として、開発範囲の拡張などを計画中とのこと。市長、市議会議員、一般市民の計10人で構成されるウォーターフロント開発委員会で事業が進められています。

目の前に見えるのは、スペリオール湖（五大湖の1つ）に横たわる、サンダーベイ市のシンボル「スリーピング・ジャイアント」です。



（現地企業等のプレゼンテーション）



（港湾開発地区の事業を案内）



(市のシンボル、スリーピング・  
ジャイアント。横たわる巨人の姿  
に見えますか?)

## <文化交流会>

夕方からは、歴史公園地区に移動して文化交流会。キース・ホブズ市長夫妻を始め、市議会議員、市関係者、先住民族、姉妹都市委員会、商工会議所、文化団体、レイクヘッド大学、ロータリークラブ、国際ソロプチミストの各幹部ら約70人が出席して、交流を深めました。

日本からは、NPO法人「和の未来」(安田多賀子理事長)文化交流団一行13人による「きものショー」が披露され、出席者を魅了しました。十二単の着付けのモデルは、キース・ホブズ市長の夫人。ちなみに、安田多賀子氏は、こうした文化活動が評価され、この春に岐阜市民栄誉賞を受賞しています。また、サンダーベイの和太鼓チーム「雷湾太鼓(かみなりわんたいこ)」の演奏が披露されるなど、互いの文化を理解する有意義な交流の時間となりました。

昨日から、ほとんどの行事に参加され、市長、市議会の次に紹介があるのは先住民族代表。カナダの起源・開拓の歴史を感じます。

秋のサンダーベイ訪日団の来岐の際には、ぜひ歓迎し、岐阜の魅力を味わって貰うお手伝いをしたいと思います。



(会場一杯に集合した  
関係者の皆さん)



(十二単のモデル役は、  
マリサ市長夫人)



(雷湾太鼓を披露する  
サンダーベイの皆さん)

## トロント市（カナダ・オンタリオ州）の概要

- ◆ 人 口 250万人
- ◆ 面 積 630km<sup>2</sup>
- ◆ 時 差 マイナス14時間（夏時間マイナス13時間）
- ◆ その他 シカゴ（アメリカ）、フランクフルト（ドイツ）、ミラノ（イタリア）、サンパウロ（ブラジル）、重慶（中国）と姉妹都市提携

●カナダ経済の商都であり（首都はオタワ）、金融や経済、電気通信、航空宇宙、芸術、映画、ソフトウェア、医療研究、教育、観光、スポーツなどの産業基盤が発達している。国内企業の本社や多国籍企業が支社を置き、世界第6位の規模を持つトロント証券取引所がある。

●移民を多く受け入れていることを反映して、多文化的で、国際色も豊かである。犯罪発生率は低く、街は清潔で、人々の生活水準も高いため、世界で住みやすい都市の一つとして各種調査機関によってランキングされている。

●トロント在住の日本人は約1万人。日系人全体を合わせると約3万人である。日系企業も多く進出している。

### <在トロント日本国総領事館を訪問>

カナダの国内線・国際線の乗り継ぎハブ空港は、トロント・ピアソン国際空港。経路であることを利用し、国際情勢の情報収集と、本市のPRのため、商都・トロント市で視察研修を行いました。

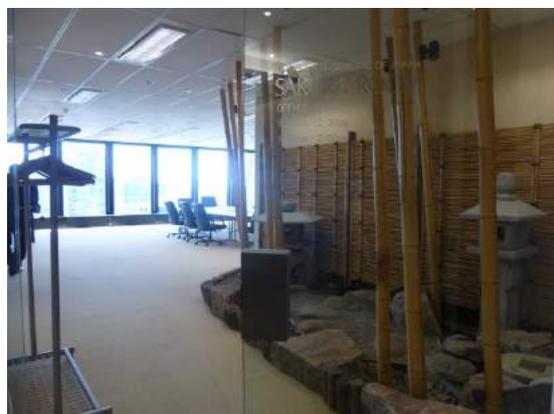
まず、在トロント日本国総領事館を訪問。中山泰則総領事から、カナダの社会経済の近況や、日本に関係する動向などについてレクチャー。カナダではワーキングホリデーが盛んであり、世界のグローバル

化に合わせ日本人が日本国内に留まることなく活躍することを期待したいとの発言があり、これを受けて、細江茂光市長が、英語でふるさと自慢、小1からの英語教育など、岐阜市における先進的な取り組みについて紹介しました。

情報交換の中で、日本遺産『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜」、世界遺産を目指す長良川鵜飼、来年の信長公450プロジェクトなど、岐阜市の取り組みをPRし、協力を依頼しました。



(近くに立つトロント市役所)



(総領事館の会議室は SAKURA ROOM)



(総領事と懇談。情報を収集し岐阜市をPR)



(在トロント日本国総領事を囲んで)

### <日本政府観光局（JNTO）トロント事務所>

次に、日本政府観光局（JNTO）トロントの中澤秀朗所長から、インバウンドのカナダ市場からの状況・傾向などについてレクチャー。岐阜市への観光誘客に協力を求めながら、活発に情報交換などを行いました。

日本政府観光局とは通称であり、正式名称は独立行政法人国際観光振興機構ですが、報道発表や通常の業務等においては、日本政府観光局（JNTO）を使用しているそうです。※JNTO=Japan National Tourism Organization の略。世界14都市に海外事務所を持ち、日本へのインバウンド・ツーリズムのプロモーションやマーケティングを行なっています。

カナダ人の訪日人数については好調であり、対前年伸び率では欧米諸国の中でトップクラス（2015年=前年比126.5%、231,

390人) とのことでありました。これは和食など日本ブームの浸透と円安が要因で、最近の円高の影響を受けたデータはまだ出ていないようです。航空座席供給量も増加しています。また、アメリカの2倍強の訪日性向（訪日人数／人口＝カナダ0.65%＞アメリカ0.32%）であること。そして、人口の3／4がトロント、モントリオール、バンクーバーなどの都市圏に集中していて、それぞれ使用言語と文化が異なるため、都市圏ごとにターゲットを定めることが重要という話でした。

こちらでも、日本遺産『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜」、世界遺産を目指す長良川鵜飼、信長公450プロジェクトなど、地域資源を活用した岐阜市の観光施策のPRを行ないました。



(日本政府観光局・JNTO  
トロント事務所長から  
インバウンドの動向に  
についてレクチャー。  
岐阜の観光施策をPR)

尚、カナダはそれぞれの民族的特色を保持したまま尊重しているため「人種のコザイク」と呼ばれ、それに対してアメリカは文化が融合し一つになっているため「人種のるつぼ」と呼ばれているという話を聞き、実に的を得た表現だと思いました。

J N T Oの理事長には、現在、三井物産出身者が就いていて、三井物産OBの細江茂光市長が、旧知の人物なのだそうです。

通り道にトロント市役所があり、玄関前の広場に降りてみました。TORONTOの文字が鮮やかです。冬場の冷え込みは厳しく、この広場は凍りつき、市民のスケートリンクになるそうです。

## シンシナティ市（アメリカ・オハイオ州）の概要

- ◆ 人 口 30万人
- ◆ 面 積 206 km<sup>2</sup>
- ◆ 時 差 マイナス14時間（夏時間マイナス13時間）
- ◆ その他 岐阜（日本）、ミュンヘン（ドイツ）、ナンシー（フランス）、  
マイソール（インド）、アンマン（ヨルダン）、ハラレ（ジンバ  
ブエ）、ハルキウ（ウクライナ）、新北（台湾）、柳州（中国）  
と姉妹都市提携

●南北戦争では、オハイオ川1本隔てた対岸が南部の奴隷州という立地から、自由を求めてオハイオ川を渡った逃亡奴隷を逃がす地下ルートの重要な拠点、そして奴隷制廃止運動の中心地となった。ハリエット・ビーチャー・ストウはシンシナティに住んでいた間、逃亡奴隷に会い、その話を基にして「アンクル・トムの小屋」を書き上げた。

●大リーグのシンシナティ・レッズは、1869年に野球史上初のプロ球団となったシンシナティ・レッドストッキングスを起源とする。これまでに5度、ワールドシリーズを制覇。イチロー選手（日米通算記録）に抜かれるまで、通算最多安打記録を持っていたピート・ローズ氏が選手・監督を務めた。その背番号14は永久欠番となっている。

●オハイオ州南西部に位置する州内第3の都市であり、「クィーン・シティ」の愛称で知られる。オハイオ州、ケンタッキー州、インディアナ州にまたがる200万人都市圏「グレーター・シンシナティ」の中心地でもあり、シンシナティ大学ほか多数の大学が本拠を構えている。

## ＜シンシナティ市長との夕食会＞

カナダからアメリカ合衆国へ入国します。テロに警戒してか、検査は非常に厳しく、エックス線は靴を脱いで通り、左右10本の指の指紋と顔の立体画像を撮られました。

土曜日の午後の到着のため、日程は夕方からのシンシナティ市長との夕食会だけ。ジョン・クランリー市長、市議会議員、市幹部、姉妹



都市委員長、日米協会役員その他、経済界からは太平洋工業オハイオ(株)社長なども参加されました。社長は太平洋工業(本社=大垣市)では総務部長だったそうで、話が弾み、



日本人の目線で両市を良く知る立場から、参考になる話題を伺うことが出来ました。

ジョン・クランリー市長と細江茂光市長が冒頭に挨拶、記念品交換の後、がっちり握手を交わしました。

(シンシナティ市長との夕食会)

ジョン・クランリー市長は1期目（任期4年）のため、細江茂光市長とは初対面のようです。現在42歳で、来年2017年が2期目への市長選挙の年とのこと。2018年の姉妹都市提携30周年、今後の更なる交流の為に、頑張って欲しいと思います。

市民の皆さんは、シンシナティ・レッズの大ファンの様で、地元の英雄ピート・ローズ氏の通算最多安打記録（4256本）を抜いたイチロー選手の話題になりました。場の雰囲気を考えて、日本人も参考記録だと思っていますよ…と謙遜しておきました。大リーグには30球団がありますが、過去・現在を通じて一度も日本人選手が所属したことの無いチームは、実はシンシナティ・レッズだけとなっており、ぜひ送り出して欲しいと、日米協会役員に嘆願されました。尚、岐阜市学童野球大会（岐阜市後援・岐阜市教育委員会後援）の優勝チームには、シンシナティ・レッズ杯が贈られています。

シンシナティ市は、岐阜市の他では、世界8ヶ国に姉妹都市を持ちますが、一番長い交流はミュンヘン市と岐阜市であって、とりわけ大切に思われている…という、日米協会役員の話を嬉しく思いました。

### <シンシナティ市内視察>

シンシナティ市での2日目は、シンシナティ市経済開発局と姉妹都市委員会、日米協会の案内による市内視察が、9時からスタート。

都心部の47階ビルの屋上に登り、市内を一望しながら市域の説明を聞いた後、専用車で、中心市街地、歴史的建造物群（オーバー・ザ・ライン歴史地区）、シンシナティ市役所、リバーフロント再開発地域、鵜飼のモニュメントのある公園、シンシナティ美術館などを案内され、

それぞれ説明を受けました。

初期のシンシナティ市はドイツ系移民が多く、欧州風の建物が並ぶオーバー・ザ・ライン地区は、シンシナティ最古かつ最大の歴史地区として、1983年に全体が国家歴史登録財に登録されています。同地区は近年、その古い街並みを活かしたお洒落なエリアとして再活性化が図られているとの事です。また、同地区にある全米で2番目に古い歴史を持つシンシナティ交響楽団の本拠地であるミュージックホールは現在改築中であり、来年にリニューアルオープン予定です。岐阜市の古い街並みを活かしたまちづくりの参考に出来ないかと思います。

また、中心市街地には9月9日旅客輸送開始のシンシナティストリートカー（LRT）が、試験運転を繰り返していました。



(47階ビルから市域展望)



(シンシナティ市庁舎)



(試験運転中のLRT)



(エデンパークの鵜匠像)

その後、1992年に岐阜市が寄贈したエデンパークの鵜匠像を視察。25年前の1991年に、岐阜市長良川鵜飼親善訪問団がシンシナティ市にて鵜飼実演を実施したことがあると聞き、長年にわたる姉妹都市交流の歴史を感じます。

昼食は、シンシナティを代表する地元料理の「シンシナティ・チリ」。1922年にマケドニア系移民の調理人が考案したとされ、柔らか目にゆでたスパゲッティにチリをかけたものが基本で、千切りにしたチェダーチーズ、みじん切りにしたタマネギ、チリ・ビーンを好みによって乗せます。また、スパゲッティの代わりに、ホットドッグに乗せたものが「コニー」で、両方とも食べました。

午後はエデンパークに建つシンシナティ美術館を視察。1886年創設のこの美術館は、全米で3番目に古く、広大な展示スペースには、素晴らしい作品が数多く展示されています。6万点に及ぶ美術品等を所蔵すること。ヨーロッパのピカソ、ミロ、ゴッホ、ルノアールといった巨匠の作品から、エジプト、ギリシャなどの古代美術、日本の古伊万里や古九谷など陶磁器の銘品もありました。これほど素晴らしい美術館が、寄附金により入館無料で公開されていることには驚きでした。



(地元料理 シンシナティ・チリ)



(シンシナティ美術館は入場無料)

## < 平和の鐘式典 >

16時から姉妹都市委員会（ギフ・シスターシティ・コミッティ）主催の平和の鐘式典に出席しました。式典会場は、シンシナティ市から車で15分程のケンタッキー州ニューポート市・世界平和の鐘センター。超巨大な鐘の姿には驚きです。

最初に、ジャック・モーランド館長から「世界平和の鐘」の由来について説明。この鐘は、直径・高さ約3.6m、重さ約30tを誇る世界最大のスイングベルであり、1998年、国連の世界人権宣言採択50周年を記念してフランスで製作されたもの。1999年にニューポート市に到着。同年大晦日に同市において初めて鐘が鳴り響いたとのこと。鳴動はボタン操作による電動式です。

エミー・マレー シンシナティ市議会議員（市長代理、姉妹都市委員長＝親日派で京都に留学経験あり、議員定数9人）の他、隣接するケンタッキー州コヴィントン市のシェリー・カレン市長、ニューポート市の市議会議員（市長代理）他にも多数出席いただきました。毎年7月9日（岐阜空襲の日）に開催される式典を、岐阜市訪問団の到着に合わせ、ずらして貰えたとの事です。



（会場の世界平和の鐘センター）



（日本語補習校生徒の折った千羽鶴）



(起動スイッチを押す細江市長)



(世界最大のスイングベル)

4市代表者等の挨拶、日系人であるニコラス・ヨダ牧師によるお祈りがあり、シンシナティ日本語補習校の佐伯佳彦校長からは、生徒全員(約300人)で折った千羽鶴が、細江茂光市長に手渡されました。

また、短冊に平和への願いを記し、笹竹に吊るしました。英字の短冊も沢山あります。日本を意識した細かい準備を有り難く感じました。

屋外は34度で、ネクタイをするにはかなりの暑さ。岐阜市長が起動スイッチを向けて押すと、巨大な鐘がスイングして、平和の鐘が打ち鳴らされました。私たちも世界平和への思いを新たにしました。

また、会場にてシンシナティ・チルドレン合唱団の代表者と面会し、来年2017年に岐阜市を訪問する予定であることが伝えられ、市民交流が進んでいることを嬉しく思いながら、歓迎の意を示し、協力を約束しました。

### <姉妹都市委員会、日米協会の皆さんとの交流会>

夜は、姉妹都市委員会、日米協会の皆さんとの交流会に出席して、姉妹都市間の友好の中心になっていただいている方々と親睦を深めました。

会場は、ビアホール・ホーフブロイハウス（400年以上の歴史を誇るドイツ・ミュンヘンに本拠を置くブルワリーのアメリカ第1号店）。初期のシンシナティ市は、ドイツ系移民が多かったことから、今も、ドイツ料理、バイエルン料理のレストランが数多く立地し、そこでは種類豊富なビールが味わえるということです。ソーセージや肉料理は巨大サイズです。ちなみにシンシナティ市のオクトーバーフェスト（ビールの祭典）は、本場ミュンヘン以外では最大級のもので、会期中には60万人以上が来場するとのこと。

トヨタ自動車の北米本社機能が、来年を目途にグレーター・シンシナティ圏のケンタッキー州からテキサス州に移転することが発表されているようで、雇用、経済などに少なくない悪影響を及ぼしそうだとのこと。日本人として、複雑な思いで聞きました。



（ビアホールで姉妹都市交流会）



（日米協会事務局長のゴールデン氏）

## ニューヨーク市（アメリカ・ニューヨーク州）の概要

- ◆ 人 口 8 1 5 万人
- ◆ 面 積 1 2 1 4 k m<sup>2</sup>
- ◆ 時 差 マイナス 1 4 時間（夏時間マイナス 1 3 時間）
- ◆ その他 東京（日本）、ロンドン（イギリス）、ローマ（イタリア）、マドリード（スペイン）、ブダペスト（ハンガリー）、エルサレム（イスラエル）、カイロ（エジプト）、ヨハネスブルグ（南アフリカ）、サントドミンゴ（ドミニカ）、北京（中国）と姉妹都市提携

●アメリカ最大の都市であり、都市圏人口は定義にもよるが 2 0 0 0 万人以上である。

●市はブロンクス、ブルックリン、マンハッタン、クイーンズ、スタテンアイランドという 5 つの行政区に分けられる。

●公共交通機関が際立って多く利用されており、多くの交通機関が 2 4 時間運行している。また人口密度の高さと、その多様性も著しい。2 0 0 5 年の調査によれば、市内では 1 7 0 近くの言語が話され、人口の 3 6 % がアメリカ国外で生まれた人であった。

●国際連合の本部ビルが置かれ、また、ウォール街のニューヨーク証券取引所は、1 日の取引量と市場全体の資本がそれぞれ世界 1 位であるなど、世界政治・経済の中心的都市である。

●2 0 0 1 年 9 月 1 1 日の同時多発テロ事件では、世界貿易センター（ワールドトレードセンター）2 棟の爆破炎上と崩壊で、3 0 0 0 人近くの人が命を落とした。

## <国際連合日本政府代表部大使と面談>

最終日は、市長一行と離別し、ニューヨークの国際連合日本政府代表部を訪問しました。

日本政府を代表し、国際平和、環境問題、人道援助、安保理改革等々、世界規模の諸課題に対応しています。また、国益の確保に努めています。

国際連合日本政府代表部の職員は約100人で、日本（外務省を始め各省庁）から50人。現地採用が50人だそうです。

外務副大臣の武藤容治氏の手配で、特命全権大使・国際連合日本政府常駐代表の別所浩郎氏と約30分間にわたって対談。6月までは韓国大使だった人物で、TVニュースで見覚えがあります。

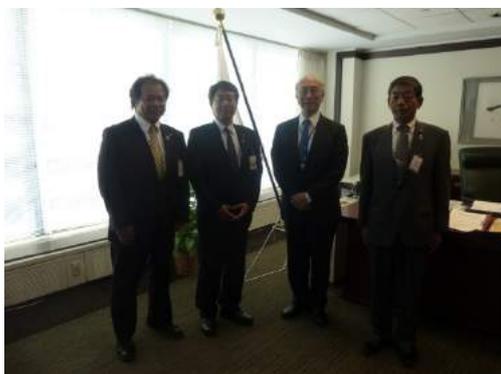


(国際連合日本政府代表部の入口、ドアのセキュリティは強固)



(国際情勢、世界の中の日本、諸課題等々について意見交換)

国連日本政府代表部の役割、国際社会の潮流、世界の中の日本、領土問題、TPP、北朝鮮・イスラム国、テロ対策、安保理等々の諸課題、アメリカ大統領選挙の動向等々についてご教授を受けました。2ヶ国間の交渉と、多数の理解を得るための交渉は違い、文化や風土が異なる中で苦勞する場面も多いとのことでした。日本は世界の中で、大多数の国から信頼されているという話が印象的でした。そして、先人の築いた無形の資産だという言葉に頷きました。



(国連大使の別所浩郎氏)



(国連次席大使の岡村善文氏)

最後に、世界遺産を目指す長良川鶉飼や、信長公を活かした観光施策をPR。岐阜市の最新プロモーションDVD、信長公PRバッチ（山田貴敏氏デザイン）、長良川鶉飼ボールペン、国重要文化的景観「長良川中流域における岐阜の文化的景観」クリアファイル、観光パンフレットを手渡して（DVD以外は10セット用意）、協力を依頼しました。

続いて、予定外でしたが、ナンバー2の特命全権大使・国際連合日本政府次席代表の岡村善文氏と面談。過去にコートジボワール大使、外務省アフリカ部長を歴任した人物で、NPO法人ぎふコートジボワール（使用しなくなった運動靴を贈る活動を続ける）代表の杉山利夫・岐阜市議会議長から預かった名刺を渡すと、大変に話が弾みました。同じく岐阜市をPRして、協力を依頼しました。

### <国際連合本部見学>

その後、日本政府代表部の手配で国連見学ツアー（英語）に参加。玄関前の国連加盟193ヶ国の国旗は、アルファベットの順とのこと。入り口では、やはり空港と同じような手荷物検査を受けます。敷地内での写真撮影はOKでした。

拳銃の筒先を結んで閉じた玄関前のモニュメントには、世界平和を



（193の国旗がABC順に並ぶ）



（世界平和への願いを込めて…）

担う、国際連合の意志を感じます。

安全保障理事会室や国連総会ホールを、傍聴席から見渡しながら説明。また途中のロビーにある地雷の展示（1個300円で作れ、除去作業に3万円～10万円かかる…）、広島・長崎の原爆の悲惨さを伝える展示なども見学しました（広島・長崎をよく知る日本人としては、もっと踏み込んだ展示を望みたい所ですが…）。

この敷地内は、国際管理地であって、アメリカでは無いのだそうです。地下のPost Officeで、パスポートに国際連合のスタンプを押して貰いました。



（安全保障理事会室）



（国連総会ホール）

## <グラウンドゼロ>

空き時間に、グラウンドゼロを訪れ、超高層ビルの跡地に祈念碑として作られた2つの池に手を合わせました。

2001年9月11日にアメリカで発生した同時多発テロ。ハイジャックされた旅客機が、超高層ビルの世界貿易センター北棟、南棟（ともに109階建て）へ順に突入し、爆破炎上した暫く後、ビルが崩れ落ちるように崩壊したTVニュースの画面は、今も忘れることは出来ません。この地に立って、市議会議員として、政治家として、そして



(グラウンドゼロ。世界貿易センタービル跡地の祈念碑)

人間として、世界平和とテロ撲滅への思いを新たにしました。

通訳によると、あれから15年が経過し、大学生や高校生を案内すると、テロリストにハイジャックされた旅客機が、超高層ビルに衝突して爆破炎上、崩壊したあの衝撃的な場面を、もうタイムリーには知らないのだそうです。「あの日の朝の記憶は決して風化させてはならない」とオバマ大統領の広島での演説ではありませんが、その様に強く思います。

尚、グラウンドゼロ視察は、日程に入っておらず、移動と通訳の延長料金などは、自費であることを申し添えます。

## <まとめ>

姉妹都市交流は、異国間の理解と友情を深め、世界平和にも寄与するものであり、各地で紛争やテロが大きな脅威となる中、改めてその重要性を再認識しています。今回の訪問を経て、絆をより一層深めるための伝道師となること



が、渡航の機会を得た私たちの責任であると考えます。まずは、サンダーベイ市長の秋の訪日に際し、お返しの“おもてなし”をさせて貰いながら、日加友好の果実を、双方向に発信したいと思います。

友達の友達は友達だ…というタモリ氏の名文句がありますが、提携姉妹都市は、それぞれ岐阜市と別に複数の姉妹都市を持っており、例えばシンシナティ市では、ドイツ、フランス、インド、ヨルダン、ジンバブエ、ウクライナ、台湾、中国の都市と、それぞれ姉妹都市交流を行なっています。それらの都市も、さらに先へと繋がっているでしょう。平和のネズミ算的な交流の展開が出来ないものかと空想します。

また、両姉妹都市が持つ歴史、文化、地域活性化の手法などに触れたことも、またと無い勉強の機会となりました。

トロント市とニューヨーク市では、国際社会の動向、世界の中の日本、外国人観光客の誘致・インバウンド促進等々について、現地の正にトップから、話を伺うことが出来ました。また、日本遺産『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜」、世界遺産を目指す長良川

鵜飼、信長公450プロジェクトなど、岐阜市の観光施策について意見交換が出来ました。これらの経験を今後の市政運営に活かしたいと思います。

最後に、今回の訪問ではサンダーベイ市、シンシナティ市、両市ともに議員や市民で構成される姉妹都市委員会が、私たち訪問団のアテンドを行ない、ほとんどの公式行事を主催していました。これは、両市において姉妹都市交流が行政主導ではなく民間主導で進んでいる証であります。姉妹都市交流の成果を市民全体に広めるためにも、見習わなくてはならないと強く感じました。岐阜市において、そうした民間組織の育成・支援にもっと力を入れたいと考えます。

今回の海外議員派遣において、お世話になった全ての皆さんに感謝を申し上げ、以上、サンダーベイ市、トロント市、シンシナティ市、ニューヨーク市に関する海外議員派遣報告といたします。

以 上